

地域は資源の宝箱:ep2

～地域に根ざしたネットワーク活動の発展と挫折～

北海道千歳市

千歳病院認知症疾患医療センター 作田 直人

千歳市北区地域包括支援センター 吉田 肇



千歳市の概要

人口	96,565人	65歳以上人口	22,096人
高齢化率	22.9%	面積	594.5km ²
日常生活圏域数	5圏域	包括数	5カ所（委託5）
推進員数	2名（委託：精神保健福祉士1名、社会福祉士1名）		

- ・新千歳空港があり、北海道の「空の玄関口」として機能している。
- ・主要産業は新千歳空港の存在や支笏湖などの観光立地の関係からサービス業（産業別人口の約75%）、次いで製造業で製造品（出荷額道内4位）、大企業の工場が数多く存在している。
- ・人口の約25%が自衛隊員およびその関係者。
高齢化率が道内で最も低い。



（H31.4.1現在）





千歳市の認知症施策

基本理念

政策目標

計画目標

施策項目

具体的施策

1
生きがいを持
って生活できる
まちづくり

2
いきいきと
元気に生活できる
まちづくり

3
安心して暮ら
せるまちづくり

1
地域支援体制の機能強化

2
医療・介護体制の充実

3
生活支援体制の充実

4
介護予防の推進

5
認知症施策の推進

6
高齢者の社会参加の促進

7
権利擁護の推進

1 地域包括支援センターの
充実

2 地域ケア会議の充実

3 相談及び広報体制等の整備

1 介護保険サービス（予防
給付・介護給付）の充実

2 在宅医療・介護連携の推進

1 生活支援体制整備の推進

2 生活支援体制の充実

3 住宅支援サービスの充実

1 介護予防・生活支援サー
ビス事業

2 一般介護予防事業・千歳
市介護予防センター

1 正しい知識の普及・啓発

2 早期発見・早期対応の推進

3 地域における見守りネッ
トワークの推進

1 人にやさしいまちづくり
の促進

2 生きがいづくりと社会参
加の促進

1 高齢者の権利擁護の推進

2 高齢者虐待の防止

(1)総合相談支援事業 (2)権利擁護事業
(3)包括的・継続的ケアマネジメント支援事業
(4)介護予防ケアマネジメント事業

(1)相談体制 (2)広報体制 (3)千歳市出前講座

(1)居宅サービス (2)訪問看護サービス
(3)施設サービス (4)介護保険サービスの低所得者対策
(5)介護保険サービスの質的向上

(1)地域の医療・介護の資源の把握
(2)在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
(3)切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進
(4)医療・介護関係者の情報共有の支援
(5)在宅医療・介護連携に関する相談支援
(6)医療・介護関係者の研修 (7)地域住民への普及啓発
(8)在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

(1)生活支援コーディネーターの配置 (2)協議体の設置
(3)地域包括ケアシステムを支える人材の確保及び質の向上

(1)在宅支援サービス (2)高齢者福祉施設

(1)高齢者世帯向けの特定目的住宅 (2)シルバーハウジング
(3)サービス付き高齢者向け住宅 (4)有料老人ホーム
(5)低所得高齢者の住まい支援 (6)福祉用具・住宅改修支援

(1)訪問型サービス及び通所型サービスの実施
(2)その他の生活支援サービス (3)介護予防ケアマネジメント

(1)介護予防普及啓発事業 (2)地域介護予防活動支援事業
(3)地域リハビリテーション活動支援事業

(1)認知症の正しい知識の普及・啓発
(2)認知症サポーター養成事業及びその家族への支援

(1)認知症初期集中支援チーム (2)認知症地域支援推進員
(3)若年性認知症啓発の推進 (4)認知症ケアパスの普及

(1)千歳地域 SOS ネットワーク (2)石狩南部 SOS ネットワーク
(3)民間企業との連携

(1)交通ネットワークの充実 (2)公共施設等のバリアフリー化
(3)交通機関等のバリアフリー化 (4)道路環境整備
(5)交通安全対策 (6)運転免許証の自主返納対策

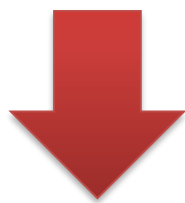
(1)高齢者福祉サービス利用啓発事業 (2)敬老会事業
(3)敬老祝賀会事業 (4)老人クラブ活動
(5)シルバー人材センター事業

(1)日常生活自立支援事業の推進 (2)市所見入人の育成
(3)成年後見制度利用支援事業 (4)成年後見支援センターの設置
(5)高齢者を担った犯罪の抑制



事業の配置状況

千歳市ではH24年～、地域包括が毎年増設
…H25年に3番目のセンターとして、北区地域包括支援セン
ターを医療法人資生会に委託



病院に認知症疾患医療セン
ターが設置された事を契機に
**認知症地域支援推進
員・認知症初期集中
支援チームが委託**



推進員① = 地域包括の社会福祉士・ケアマネジャー

推進員② = 認知症疾患医療センター・認知症初期集中支援チームの精神保健福祉士





活動報告

介護・認知症予防ネットワーク

【介護予防の教室活性化】

どうやって変化
したのか

高齢者運転の支援（千歳モデル）

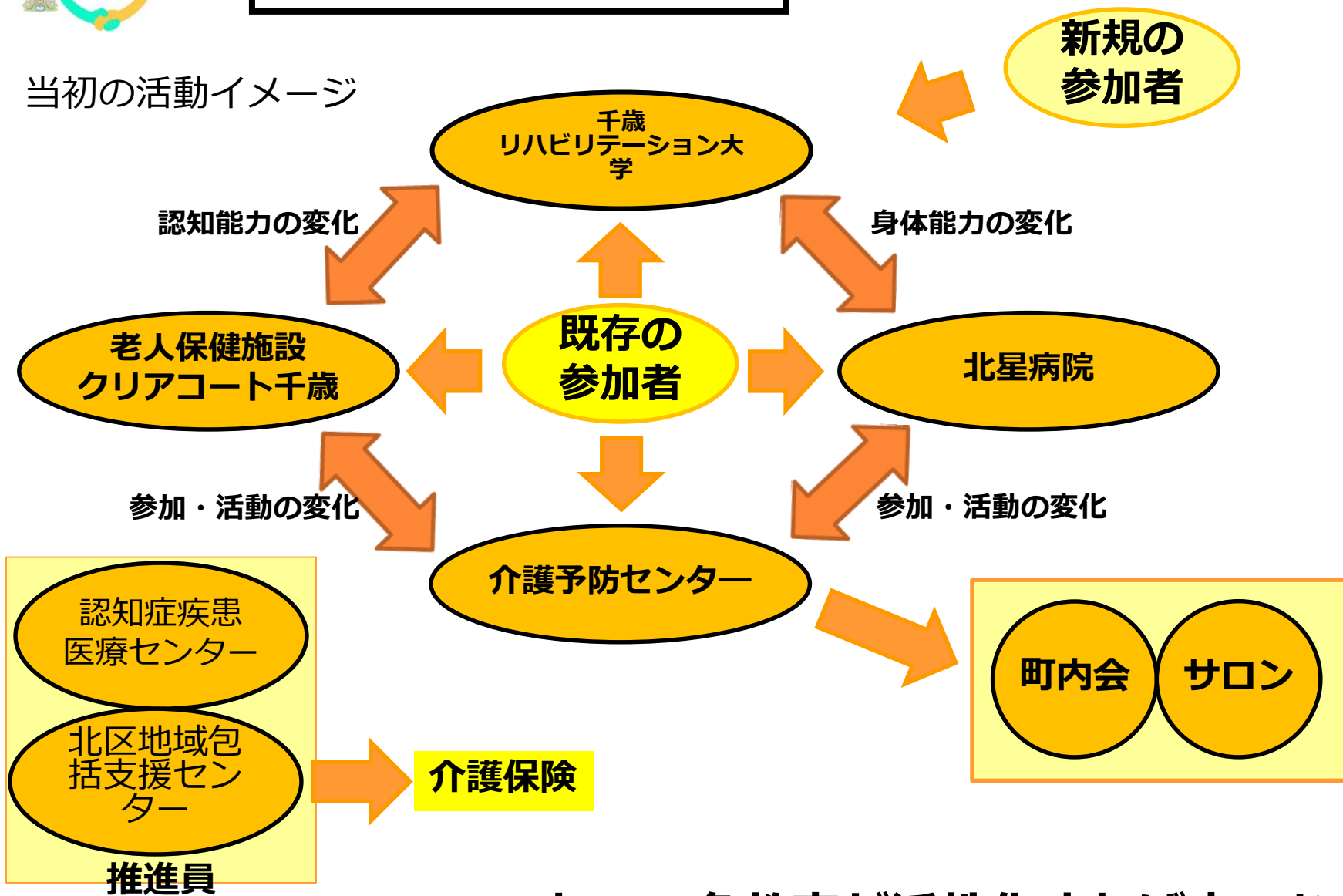
【地域包括ケアシステムの一部を担える提案】

= 地域課題への対応



活動の変遷

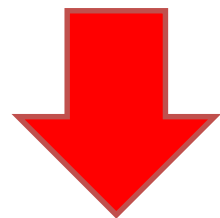
当初の活動イメージ



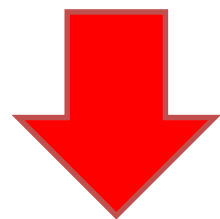
これで、各教室が活性化すれば良いな…

会議を通じて…

- 互いに紹介しあい、周知活動を効率化
- 他職種の意見を、その場でもらえる

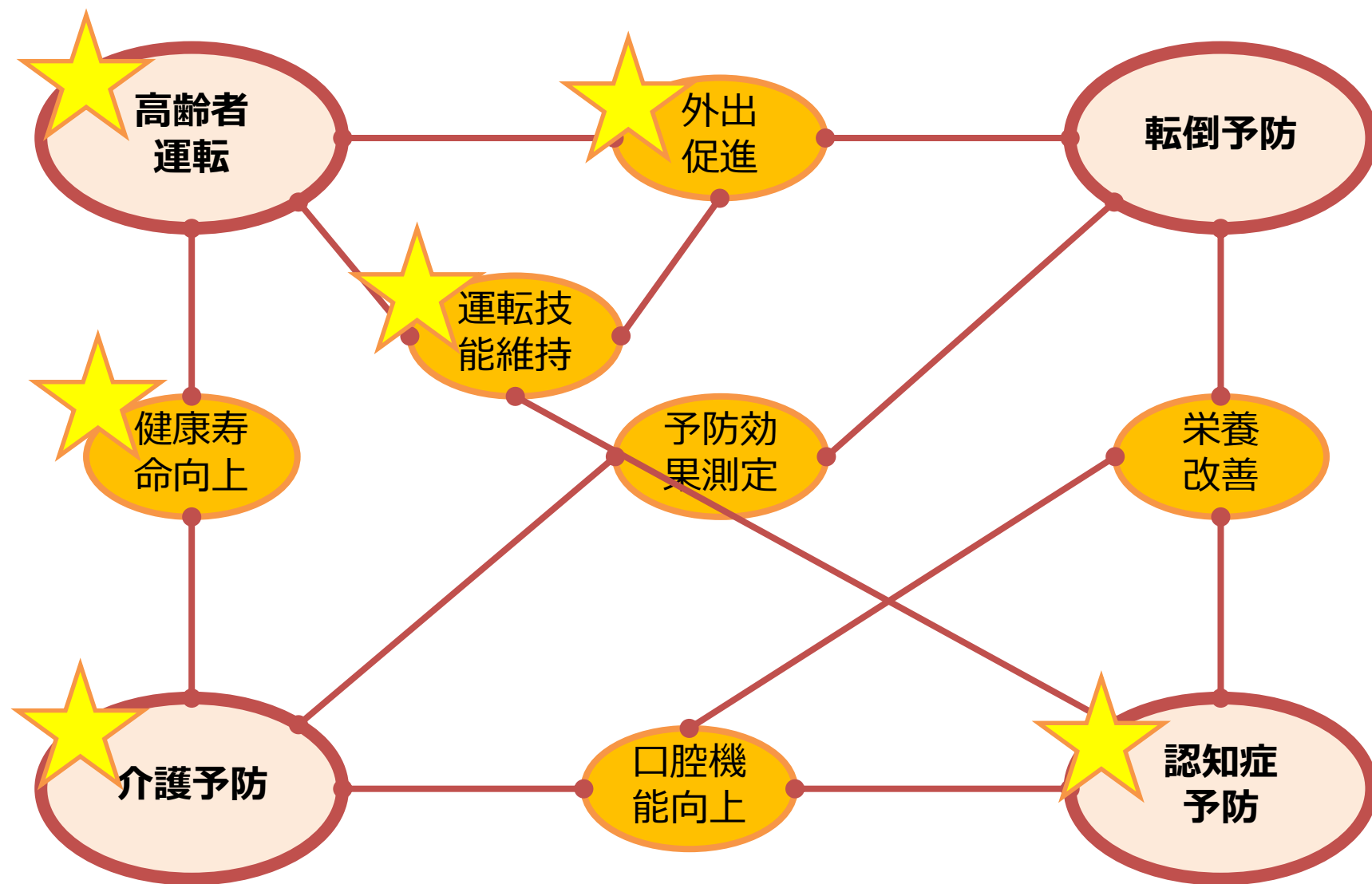


- すべての教室で利用者増
- 内容改善・アイディア創出がしやすくなる
- 各機関のイメージアップ
- 収益増

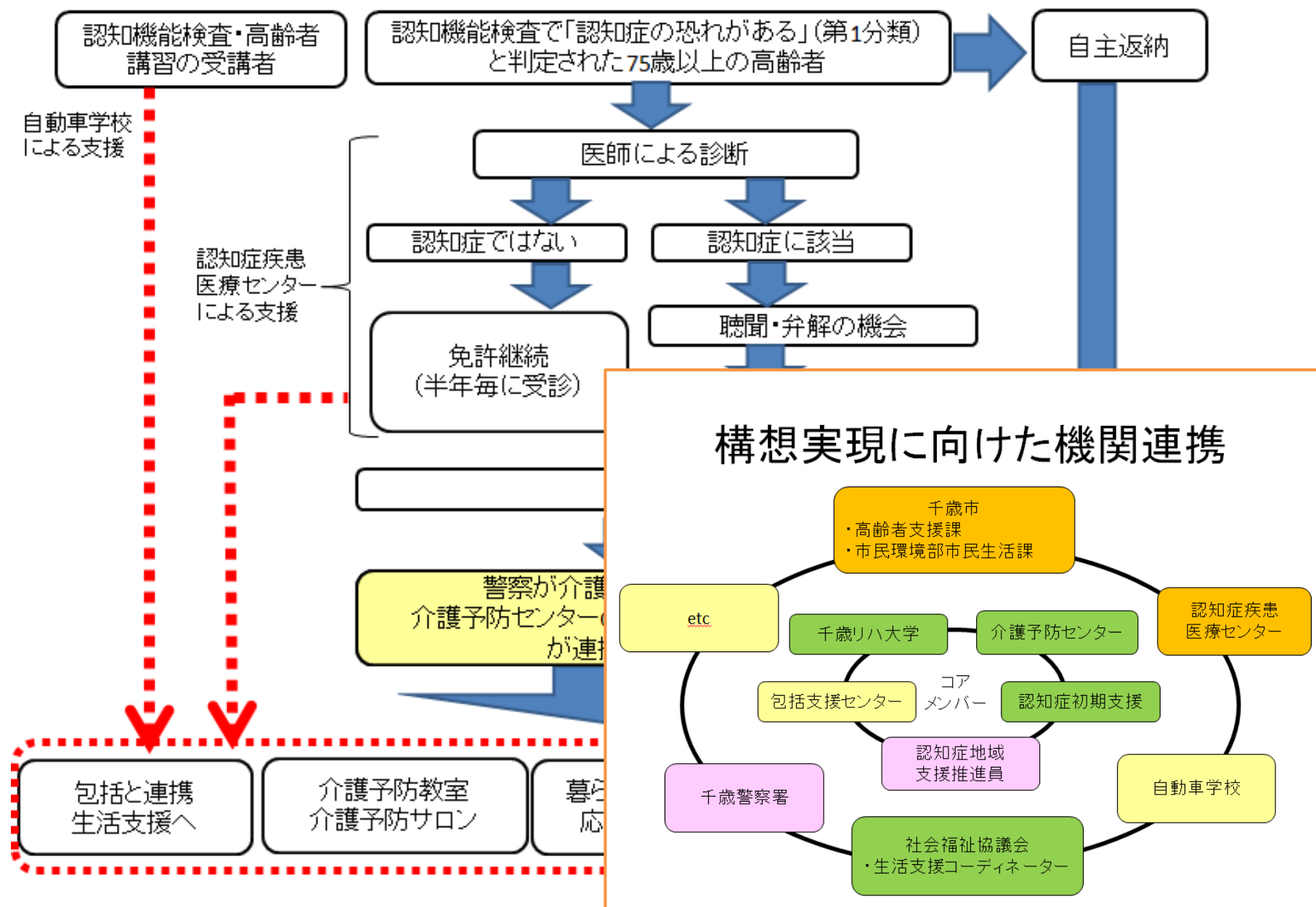


教室の活性化どころか

別の活動に発展！



千歳市の高齢者運転および免許返納後の支援システム（千歳モデル）案





活動のポイント

- 推進員のやりたい事に対しての『相手』がどう思っているか
 - 『相手が』している事・したい事は何か
 - 推進員に関係なさそうな事でも手伝う
- ⇒ 自然と**お互いの協力できるところ**が見えるようになる？

を重視

- 推進員が能力以上の事をしないようにする
- ⇒ **推進員の役割は減る**が議論は進む
(餅は餅屋に任せろ理論)

会議での
推進員の
役割

旗振り・会議
全体の調整

会議の司
会・日程調
整

日程調整・
意見出し

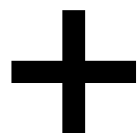
意見出し

そうこうしているうちに

市交通安全係長と連携 = 係長のコネクション活用

- 商店
- 飲食店
- 商工会議所（青年部）

→**地元の協力体制強化**



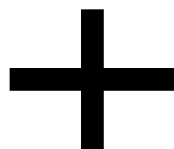
市の免許返納高齢者優遇制度（2020年予定）

- 交通機関の割引
- 飲食店の割引

→**外に出かける口実・役割**



運転寿命
の延伸



返納後の
支援



認知症でも、そうでな
くても暮らせる地域

につながる流れが！

しかし！問題発生！

- 予防センターOTが活動を制限するよう指導される
- 家庭の事情で夜は参加できないメンバーが出る
- 法人の方針で（？）、連絡がつかないメンバーが出る
- 交通安全係長が突然に退職

などなど…

どうしよう…？

できる範囲でやるしかない！
とりあえずできる事は？
もしくは、できない事は？



○予防センターOTが活動を制限するよう指導される

⇒上の監視をごまかす抜け道を探る

色々な事業をかくれみのに…協力継続！

○家庭の事情で夜は参加できないメンバーが出る

⇒会議でメイン、時間外は周知などのサブをしてもらう

役割分担が明確になって、むしろやりやすく

○法人の方針で（？）、連絡がつかないメンバーが出る

⇒来れるようになるまで、集まる日などの情報提供はする

現在、ひたすら待ち

○交通安全係長が突然に退職

⇒次の係長が誰になるか決まるまで待つ…？

駄目なら、市の中での他の伝手を探す！

ちなみに



市から、新しい交通安全係長が会議に参加！



活動の課題とまとめ

- 資源を見つける方法・きっかけがどこにあるか分からない
⇒医療・介護・福祉分野に絞ると資源を見逃す

一見関係ないと思われる事が認知症の支援につながる

例：手芸の先生 → 脳活性化のレク

映像関係 → 啓発動画の作成

- 『やりたい事』をどこまで通すかのバランスが難しい
⇒お願いしすぎると相手に負担・我慢しすぎると自分に負担

お互いのメリット・お互いの負担の見極めが大事

- システム構築に至るまでの関係機関が多岐に渡る
 - ⇒協力をとりつけるのが大変…
 - とりつけても、担当者が変わるとやり直し…
- メンバーが、システムを決定する権限がない
 - ⇒仲間の仲間は、自分の仲間
 - そのうちに『力』のある仲間が見つかる？

**めげずに、こつこつと
地域のシステムも身内から**

移動手段を考える会

第2回 北海道の自動車運転と

平成30年11月17日(土) 14:00~17:00 (13:30受付開始)
第二北海道通信ビル 2 階 (札幌市中央区北5条西6丁目)

定員: 60名(参加費無料)
申込み: dodrivesupp5331@gmail.com
メールタイトル: 「第2回研究会参加申し込み」

①氏名・所属
②職種
③懇親会参加希望「あり・なし」

主催: 北海道千歳リハビリテーション大学
後援: 公益社団法人 北海道作業療法士会

【本研修会の目的】
地域の自動車運転支援における情報交換の場とすること

【研修会プログラム】

- 千歳での取り組み
 - 運転寿命延伸に向けた地域向け講座 佐々木努/千歳リハビリテーション大学
 - 免許返納に関わる機関連携 山北武/千歳市介護予防センター
 - 千歳市での運転相談事例とその対応 作田直人/認知症疾患医療センター
吉田肇/千歳市北区包括支援センター
- 道路交通法改正後の動向、運転適性相談等の地域での取り組み
北海道警察本部 交通部運転免許センター運転免許試験課
- 道南地区(知内町)での運転支援の取り組み 野田正貴/高橋病院
- 道内作業療法士の運転支援の実態調査 山田恭平/千歳リハビリテーション大学

※本研修会は、北海道千歳リハビリテーション学院の「卒後支援講習会」の一環として実施します。
研修会後、札幌駅周辺で懇親会を行います。情報交換、人脈作りには是非ご参加ください。



平成30年11月17日 研修会 (千歳リハビリテーション大学主催)

道千歳リハ大・高齢者運転などで研修会

OT、介護予防センター、警察署、自動車学校、認知症地域支援推進員等連携



研修会では、千歳市の取り組みとして、同大介護予防センター、同市認知症疾患医療センター、同市北地域包括支援センターが報告。同大の佐々木努教授（認定作業療法士）は、北海道千歳リハビリテーション大学主催で2回目の開催となった研修会

は、8月25日に同市内のた高齢者は、継続して開いた。運転免許返納に関する高齢者に比べ、要介護状態になるリスクが8倍に上昇する結果を踏まえ、高齢者の運転安全意識の向上、特性を自覚し、なるべく北武OTは地域リハビリ

は、8月25日に同市内のた高齢者は、継続して開いた。運転免許返納に関する高齢者に比べ、要介護状態になるリスクが8倍に上昇する結果を踏まえ、高齢者の運転安全意識の向上、特性を自覚し、なるべく北武OTは地域リハビリ

は、8月25日に同市内のた高齢者は、継続して開いた。運転免許返納に関する高齢者に比べ、要介護状態になるリスクが8倍に上昇する結果を踏まえ、高齢者の運転安全意識の向上、特性を自覚し、なるべく北武OTは地域リハビリ

は、8月25日に同市内のた高齢者は、継続して開いた。運転免許返納に関する高齢者に比べ、要介護状態になるリスクが8倍に上昇する結果を踏まえ、高齢者の運転安全意識の向上、特性を自覚し、なるべく北武OTは地域リハビリ

は、8月25日に同市内のた高齢者は、継続して開いた。運転免許返納に関する高齢者に比べ、要介護状態になるリスクが8倍に上昇する結果を踏まえ、高齢者の運転安全意識の向上、特性を自覚し、なるべく北武OTは地域リハビリ

高齢者による交通事故が増える中、北海道千歳リハビリテーション大が17日に札幌市内で開いた研修会。北海道の自動車運転と移動手段を考える会にて、同大作業療法士、千歳市介護予防センター、警察署、千歳自動車学校、認知症地域支援推進員の連携した千歳モデルを報告。OTなど専門職が連携し介護予防の一端としてトレーニングを啓発するほか、認知症初期集中支援につなげた事例を報告し、地域で支える必要性も浮き彫りとなった。

千歳モデル報告

自動車運転と代替移動手段に関する意見交換を目的とし、警察署と自動車学校も講師として参加。国立長寿医療研究センターの調査によると、運転を中止し

千歳モデル報告

千歳モデル報告

千歳モデル報告



第2回 北海道の自動車運転と移動手段を考える会
1 「運転寿命延伸に向けた地域向け講座の紹介」
「免許返納に関わる機関連携～全国と千歳市の状況」
「千歳市の運転相談事例とその対応」
「千歳市（市内町）での運転支援の取り組み」
「道法改正後の動向、運転適性相談等の地域での取り組み」
「警察法士の運転支援の実務調査」

千歳モデル報告

千歳モデル報告

千歳モデル報告

地域で支える 必要性浮き彫り

千歳モデル報告

千歳モデル報告





全国の推進員仲間へ

- ★意見は何でも良いから出そう！
- ★まずは推進員が楽しめることをやってみよう！
- ★必要『かも』なら、とりあえず動こう！

きっと、遠くない未来に『地域に必要な何か』につながると信じて、一緒に**ゆっくり**頑張りましょう！



ご清聴

ありがとうございました